

SDGs未来都市等進捗評価シート

2019年度選定

栃木県宇都宮市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

栃木県 宇都宮市 SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

栃木県 宇都宮市 SDGs 未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

第6次宇都宮市総合計画（平成30年策定）で位置づけた宇都宮市が目指す将来のうつのみや像
「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや」の実現に求められる概ね10年後のあるべき状態

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	年間観光入込客数【8.9】	2016年 1,483 万人	2020年	747 万人	2022年	1,550 万人	-1099%
2	市内総生産【9.2】	2014年 2,719,222 百万円	2018年	3,017,891 百万円	2022年	2,956,071 百万円	126%
3	女性就業率【10.2】	2016年 60.8 %	2020年	— %	2022年	62.0 %	—
-	学習活動をしている市民の割合【4.3, 4.7】	2016年 38.4 %	2021年	— %	2022年	43.2 %	—
-	「まちづくり活動に参加している」市民の割合【17.17】	2016年 — %	2021年	— %	2022年	25.0 %	—
4	市内人口に占める都市拠点・地域拠点（都市機能誘導区域と市街化調整区域の地域拠点）の人口割合【9.1】	2016年 19.4 %	2020年	19.3 %	2022年	20.1 %	-14%
5	宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合【10.2】	2016年 95.9 %	2020年	95.4 %	2022年	98.5 %	-19%
6	公共交通夜間人口カバー率【11.2, 11.3】	2017年 89.8 %	2020年	90.5 %	2028年	100.0 %	7%
7	災害などの危機に備えている市民の割合【13.1, 13.3】	2017年 44.0 %	2020年	— %	2022年	46.0 %	—
-	学習活動をしている市民の割合【4.3, 4.7】	2016年 38.4 %	2021年	— %	2022年	43.2 %	—
-	「まちづくり活動に参加している」市民の割合【17.17】	2016年 — %	2021年	— %	2022年	25.0 %	—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
8	太陽光発電設備導入世帯数（累計）【7.2, 7.3】	2016年 15,138 世帯	2020年 18,633 世帯	2022年 21,000 世帯	60%
9	市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量【12.3, 12.5】	2016年 781 g	2020年 806 g	2022年 734 g	-53%
10	もったいない運動に取り組んだ人数【17.17】	2016年 36,896 人	2020年 15,652 人	2022年 43,800 人	-308%
-	学習活動をしている市民の割合【4.3, 4.7】	2016年 38.4 %	2021年 — %	2022年 43.2 %	—
-	「まちづくり活動に参加している」市民の割合【17.17】	2016年 — %	2021年 — %	2022年 25.0 %	—

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「年間観光入込客数」, 「もったいない運動に取り組んだ人数」については, イベント開催や交流人口に関するものであり, 新型コロナウイルス感染症の拡大による, 外出自粛等の影響を大きく受け, 目標値を下回っている状況にある。
⇒2021年度はオンラインの活用や観光需要の喚起策等, 目標の達成に向けて取り組む。

・「女性就業率」については, 2020年国勢調査の数値公表後, 評価予定(2022年5月以降)

・「学習活動をしている市民の割合」については, 5年毎に実施している2021年度市民意識調査の数値公表後, 評価予定(2021年11月以降)

・「まちづくり活動に参加している」市民の割合については, 5年毎に実施している2021年度市政に関する世論調査の数値公表後, 評価予定(2021年12月以降)

・「市内人口に占める都市拠点・地域拠点の人口割合」については, スーパー等, 市民の身近な利便施設の立地状況が地域によって偏りがある等の課題があり, 拠点への誘導には期間をかけて取り組む必要があることから, 概ね横ばいで推移している。

・「宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合」については, 感染症の影響のため, 子育て施設の利用休止等により, 妊産婦や乳幼児保護者向けの対面による相談機会の制限があったものの, 妊産婦医療費助成の実施等, 子育て家庭の経済的負担の軽減を図ったこと等により, 概ね横ばいで推移している。

・「災害などの危機に備えている市民の割合」については, 2021年度市民意識調査の数値公表後, 評価予定(2021年11月以降)

・「太陽光発電設備導入世帯数」については, 日照量が豊富な本市の特徴を活かした補助事業の推進等により, 伸びは鈍化しているものの, 順調に推移している。

・「市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量」については, 外出自粛等による感染症対策のため各家庭での生活時間の増加に伴い, 当初値を下回っている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2019年～2021年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 目標値	達成度 (%)
1	魅力創造・交流に関する取組	年間の観光入込客数	2016年 1,483 万人		2019年 1,476 万人	2020年 747 万人	2022年 1,550 万人	-109%
2	産業・環境に関する取組	女性就業率（25～44歳まで）	2016年 60.8 %		2019年 - %	2020年 - %	2022年 62.0 %	-
3	子育て・教育に関する取組	宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合	2016年 95.9 %		2019年 96.2 %	2020年 95.4 %	2022年 98.5 %	-19%
4	健康・福祉に関する取組	健康寿命の延伸	2016年 男性 79.6 歳		2019 年 男性 - 歳	2020 年 男性 - 歳	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	-
			2016年 女性 83.6 歳		2019 年 女性 - 歳	2020 年 女性 - 歳		-
5	交通に関する取組	公共交通夜間人口カバー率	2017年 89.8 %		2019年 90.0 %	2020年 90.5 %	2028年 100.0 %	7%
6	安全・安心に関する取組	災害などの危機に備えている市民の割合	2017年 44.0 %		2019年 - %	2020年 - %	2022年 46.0 %	-
7	産業・環境に関する取組	太陽光発電設備導入世帯数（累計）	2016年 15,138 世帯		2019年 17,751 世帯	2020年 18,633 世帯	2022年 21,000 世帯	60%
		もったいない運動に取り組んだ人数	2016年 36,896 人		2019年 34,456 人	2020年 15,652 人	2022年 43,800 人	-308%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2019年～2021年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2021年目標値	達成度(%)
9	「人づくり」及び「ヒトの“うごき”を生み出す取組	SDGs関連セミナーの参加者数	2019年 150人		2019年 150人	2020年 366人	2021年 540人	55%
		再生可能エネルギーの地産地消によるCO ₂ の削減効果	2019年 - t-CO ₂		2019年 0 t-CO ₂	2020年 - t-CO ₂	2021年 4,500 t-CO ₂	-

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

・2021年7月に設立した「地域新電力会社（宇都宮ライトパワー株式会社）」と連携し、2022年1月に開始する公共施設への安定的な電力供給に向けた取組を実施している。今後は、電力売買で得られた収益を地域に再投資し、将来的には、自律的好循環の実現を目指していく。

・2020年1月に、SDGsに対する宇都宮市全体での理解促進と市民・事業者とのパートナーシップの基盤強化を図るため、「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」を設立し、行政をはじめ、市域の企業、NPO、教育機関などの多様な主体が連携しながら、各種勉強会及び出前講座、宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム会員交流会「メンバーセッション」の実施や、独自ホームページの運用、市内イベント「エコテック&ライフとちぎ2020」への出展等を通して、市民、事業者のSDGsに対する認知度向上や理解促進、SDGs達成に向けた取組の波及を図っている。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「女性就業率」については、2020年国勢調査の数値公表後、評価予定(2022年5月以降)

・「健康寿命の延伸」については、2021年度実施予定の要介護認定の基礎数値公表後、評価予定(2021年11月以降)

・「SDGs関連セミナーの参加者数」については、勉強会や出前講座等の普及啓発活動を実施したことにより、昨年より大幅に上昇した。
⇒ 2020年7月に実施した市政に関する世論調査において、SDGsを「知っている」と回答した市民は約30%に留まっている結果であったことを踏まえ、今後も情報発信の更なる強化が必要である。

⇒ 「人づくりプラットフォーム」の会員数は2021年3月末時点で214団体となっており、今後もSDGsの実践に取り組む会員数の増加等を推進する必要がある。

・「災害などの危機に備えている市民の割合」については、2021年度市民意識調査の数値公表後、評価予定(2021年11月以降)

・「再生可能エネルギーの地産地消によるCO₂の削減効果」については、2021年7月に設立した「地域新電力会社」が2022年1月に公共施設への電力供給を予定しているため、その後、削減効果などを評価予定
⇒ 将来的には、地域の脱炭素化など市の地域課題の解決を目指していく。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・多種多様な取組、計画を同時に取り組んでいくのは非常に野心的で評価できる。

・コンパクトシティへの取組で十分な効果に期待する。

・市内で子育てしたい人の割合だが、他の市町村との比較の観点が必要だと思料する。

・もったいない運動に取り組んだ人数がイベント参加者ベースになっているようだが、本来は日常的に取り組む人数で見るとはどうかと思料する。

・LRTの2023年の操業に合わせて、駅周辺地区のMaaSやEV利用ネットワークなどの展開について、積極的な発信を期待する。

・地域新電力会社の設立経緯、事業の概要などを詳しく共有して頂きたい。この会社での設立及び運用に係る情報は、他の自治体への横展開にとって有益なので、整理されたものの共有が望まれる。

・まちづくり、コンパクト化への達成を評価する指標の検討も必要だと思料する。

・プロジェクトがおそろ異なる部局によってマネジメントされており、統合が見えない状況である。SDGs推進体制の強化が重要と思料する。